

マロネート脱炭酸酵素ホロ-[アシルキャリアタンパク質]合成酵素

Cat. No. EXWM-3277

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 マロネート脱炭酸酵素の Δ サブユニットはアシルキャリアタンパク質 (ACP) として機能し、補因子2-(5'-トリホスホリボシル)-3'-デフオスホCoAを含んでいます。この酵素のホロACP型の生成には2つの反応が関与しています。最初の反応はEC 2.4.2.52、トリホスホリボシル-デフオスホCoA合成酵素によって触媒されます。生成された補因子は、セリン残基へのホスホジエステル結合を介してACPサブユニットに結合し、EC 2.7.7.61、クエン酸リアーゼホロ-[アシルキャリアタンパク質]合成酵素の方法に類似して、酵素のホロ型を形成します。

別名 holo ACPシンターゼ (あいまい) ; 2'-(5''-トリフォスフォリボシル)-3'-デフオスフォ-CoA:apo ACP 2'-(5''-トリフォスフォリボシル)-3'-デフオスフォ-CoA トランスフェラーゼ; MdcG; 2'-(5''-トリフォスフォリボシル)-3'-デフオスフォ-CoA:apo-マロネート-デカルボキシラーゼ アデニル基転移酵素; holo-マロネート-デカルボキシラーゼ シンターゼ (不正確)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.7.66

反応 2'-(5'-トリホスホリボシル)-3'-デフオスホ-CoA + マロネート脱炭酸酵素アポ-[アシルキャリアタンパク質] = マロネート脱炭酸酵素ホロ-[アシルキャリアタンパク質] + 二リン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。